Technical Regulation 2026

2026年度 ロードスター・パーティレースⅢ 車両規定①

車両

ロードスター・パーティレースⅢに参加できる参加車両は、ND（車両型式：ND5RC/ND5RE）ロードスターNR-A とし、道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に適合した有効な自動車検査証を有する車両で、乗車定員は 2 名とし、レース中においても乗車定員分の座席を有していなければならない。
また、レースは JAF 国内競技車両規則第 3 編スピード車両規定第 7 章「スピード B 車両規定に従った車両で行われ、本規定に定められていない項目については、同規則第 5 章「スピード SA 車両規定」に従っていなくてはならず、定められていない項目は全て当初のままで、変更および改造は一切許されない。

定義

1）純正部品
国内向け仕様として生産者から出荷された状態のもので、無修正のものを指す。また、同一型式車種専用部品であっても NR-A モデル（機種）に設定されていない部品は、ビースポーツ・パーティレース事務局（以下 B-Sports）より使用許可の公示がない限り、使用は認められない。NR-A モデルであっても、異なる型式車両にのみ設定されている部品は、B-Sports より使用許可の公示がない限り、使用は認められない。

2）指定部品
B-Sports より使用が義務付けられた部品。指定部品以外の使用は、純正部品を含み認められない。

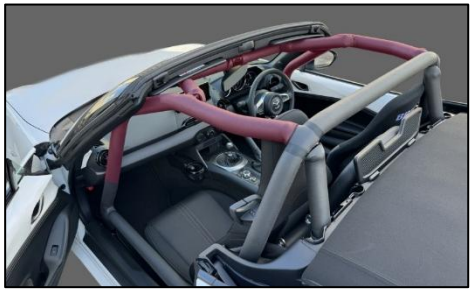
3）認定部品
B-Sports より使用が認められた部品。認定部品以外に純正部品の使用も認められる。

統一解釈

本規定は道路運送車両の保安基準に適合し、出来る限り変更、改造の範囲を最小限に留めることで、日常での利便性を極力損なわず、廉価な車両で平等な条件の下に、オープン FR ライトウェイトスポーツの真髄を堪能できることを目的として作成されたものであり、JAF 国内競技車両規則および当規則により規定されていない事項については、すべて改造、変更、取付けが許されないと解釈しなければならない。
車検の指定場所や、B-Sports またはオーガナイザーによって用意された機材、器具、および計測方法に対する抗議は認められない。
本規則の解釈に万一疑義を生じた場合は技術委員長の解釈を持って最終とする。

1．安全規定

1）ロールケージ
①B-Sports 指定部品の装着が義務付けられる。
・ND5RC 用：マツダスピード製ロールバー　品番：QND1 53 660
・ND5RE 用：クスコ製ロールバー　品番：434 270 W9M
②乗員保護のため頭部等に接触する恐れのあるロールケージの部位は、緩衝材で覆わなくてはならない。緩衝材を覆う必要がある最小限の部位は、以下の図に赤色で示された両ドアウインドウより高い位置にあるフロントロールバー（ルームミラー取付位置を除く）およびサイドバーとする。ただし、これはあくまでレース車検に限定した解釈であり、道路運送車両法で定められた車検の解釈や運用とは異なる可能性があるため、公道使用時は全ての部位を覆うことを強く推奨する。



③B-Sports 指定部品のロールケージに対するいかなる改造も禁止される。

2）安全ベルト
ワンタッチフルハーネスタイプで 5 点式以上の安全ベルトの装着が義務付けられる。JAF 国内競技車両規則第 3 編第 5 章第 1 条 2「安全ベルト」および第 5 編細則「ラリー競技およびスピード競技における安全ベルトに関する指導要綱」に従うこと。なお、乗車定員分の純正シートベルトは取外してはならない。

3）けん引用穴あきブラケット
前後にけん引用穴あきブラケット（ケーブルフープ式も含む）を備えなければならない。JAF 国内競技車両規則第 3 編第 1 章第 9 条 2）「けん引用穴あきブラケット」に従うこと。

4）消火装置
消火装置の装着を推奨する。取付ける場合は JAF 国内競技車両規則第 3 編第 1 章第 9 条 1）「消火器」に従うこと。

5）サーキットブレーカー
取付けは認められない。

6）オイルキャッチタンク
取付けは認められない。

2．改造規定

参加車両は、次の各項目に従ったものでなければならない。また、当規定に定められていない項目は全て当初のままで、変更および改造は一切許されない。さらに、当規定に定められていない性能の向上を目的としていると判断される部品の装着は、その効果の有無を問わず一切許されない。

2-1．エンジンおよび補機

1）エンジン本体
純正部品への旋盤加工、溶接、研磨などの機械加工は許されない。ピストンは純正スタンダードサイズピストンに限り使用が許される。

2）フライホイール
加工、変更は許されない。

3）エンジンマウント
加工、変更は許されない。

4）ラジエターファン
ラジエターファンおよびファンスイッチの加工・変更・追加等の改造は許されない。

5）ラジエター
ラジエターの変更および取付け位置の変更は許されない。キャップ圧力の変更およびヒートインシュレータ（サーモスタット）の変更に限り許される。

6）ラジエター配管
リザーバータンクおよびホース類の変更は許されない。水温の計測を目的とした温度センサの取付けのための最小限の加工は認められる。

7）オイルクーラー
加工、変更は許されない。

8）オイルポンプ
加工、変更は許されない。

9）オイルフィルター
変更は自由。ただし、取付け位置の変更は許されない。また、油温・油圧の計測を目的としたセンサ取付けのため、アタッチメントを使用することは許される。

10）オイルフィラーキャップ
変更は自由。

11）バッテリー
①国産車用（JIS 規格）バッテリーに限り、本体の変更は認められるが、本体外寸は当初の物と同等でなくてはならない。また、取付けステーにて確実に固定されていなくてはならず、搭載位置の変更は認められない。
②ボディアース線の追加・加工・変更等の改造は認められない。

12）オルタネーター
加工、変更は許されない。

13）ECU
①生産者のアップデートや純正 ECU への交換を除き、一切の変更および改造は許されない。また、各オーガナイザーや B-Sports が用意した診断機で情報が読み取れない場合や、最高速度が 184km/h 以上を計測した場合は、ECU の改造があるものとみなす。
②電気的に諸装置を調整できる調整装置（ECU 等のすべてのコンピュータ類のコントローラー、スピードリミッター解除装置を含む）の使用は許されない。
③競技中に、B-Sports が用意した ECU への変更（書き換えを含む）を命ずる場合がある。変更に従わない場合は重大な違反となり、競技会審査委員会が決定したペナルティが科される。この決定は B-Sports が行うものとし、その決定および変更に伴うあらゆる不利益に対する抗議は認められない。

14）点火系統
点火プラグの変更のみ許される。

15）セルモーター
加工、変更は許されない。

16）エアクリーナー
エアクリーナーケース、配管の変更は許されない。エレメントの変更のみ許される。

17）吸気・排気マニホールド
変更および修正加工は許されない。また、排気マニホールドへ防熱措置（バンテージ等の装着）を施すことは許されない。
マツダ製インダクションサウンドエンハンサー（品番：N314 V9 180 ※旧品番 N243 V9 180）の装着のみ許される。

18）マフラーおよび排気管
加工、変更は許されない。

2-2．シャシー

1）サスペンション
①加工、変更は許されない。
②レース終了後も含み、静止中は常に片側キャンバー上限値をフロント-2.0°／リア-3.0°とする。判定は数値のみで行い、競技中に他車と接触した場合を除き、競技中に数値がずれた可能性については考慮されない。
③ダンパーの車高調整は、前後とも C リングを一番低い位置に設定することを推奨する。

2）クラッチ
加工、変更は許されない。

3）トランスミッション
変速比（ファイナルギヤを含み）を含み一切の変更、加工修正は許されない。

4）制動装置
①ブレーキパッドは B-Sports 指定部品の装着が義務付けられる。モビリティリゾートもてぎでの開催時は、マツ耐専用スペックの装着を推奨する。
・エンドレス製ブレーキパッドセット
（パーティレース専用スペック）
フロント　品番：EP508PR4 ／ リア　品番：EP432PR3
・エンドレス製ブレーキパッドセット
（マツ耐専用スペック）
フロント　品番：EP508MFE1 ／ リア　品番：EP432MFE1
②ボルトオンにて装着可能なホースの変更が許される。
③上記以外の部品の変更、取付け、取外しは許されない。また、ブレーキアシストシステムの取外しや停止も許されない。

5）ディファレンシャル
加工・変更は許されない。

6）タイヤおよびホイール
変更する場合は下記の要件を満たさなければならない。
①タイヤおよびホイールサイズは下記のみ許される。
タイヤサイズ：195/50R16 ／ ホイールサイズ：16×6.5+45
②タイヤは B-Sports 指定部品の装着が義務付けられる。
・ブリヂストン製「POTENZA Adrenalin RE004」
※昨年までの指定部品であるブリヂストン製「POTENZA Adrenalin RE004」は、猶予期間として 2026 年度シーズン終了まで使用が認められる。
③ホイールは、一般に市販された車検対応品で（ワンオフ品は不可）、スチール製、またはJWL マークのあるアルミ合金製とする。また、メーカーラインオフ時の諸元が変更されていない ND ロードスターNR-A への適合が、そのホイールメーカーより認められていること。
④ホイールナットの材質および形状の変更は許される。ただし、ホイールリム面からはみ出してはならない。
⑤タイヤ・ホイールは、車軸中心より前方 30°、後方 50°の範囲内でフェンダー等より突出していないこと。

Technical Regulation 2026

2026年度 ロードスター・パーティレースⅢ 車両規定②

⑥レース終了後も含み、常にタイヤ中心より両側各50㎜の範囲内の溝（「ワイドストレートグルーブ」という太い3本の主溝）のいかなる部分のスリップサインも出てはならない。また、その溝の深さは、予選開始前に4㎜以上、レース終了後も1.6㎜以上を有すること。

⑦通常走行時の摩耗以外のタイヤの加工（スクレーパーやヤスリなどで物理的にタイヤ外面を削る、タイヤウォーマーやヒートガンでタイヤを温める、等）は禁止される。ただし、素手でタイヤカスを取り除くことは認められる。当該大会技術委員長により加工していると判断されるものは使用を認められない。また、競技中以外でも同規定の違反行為が発覚した場合には、B-Sports ペナルティが科される。

⑧タイヤのウォームアップ、クールダウン、溶剤塗布等は許されない。

⑨ホイールスペーサーの使用は許されない。

2-3．車体

1）自動車登録番号標（車両番号標）
移設することは許されない。

2）空力装置（エアロパーツ）
下記のB-Sports認定部品への変更、取付けが許される。
・マツダスピード製
フロントアンダースカート
品番：QNDE 50 AH0B**（旧品番：QND1 50 AH0）
エアガイド
品番：N243 V4 990
リアスポイラー
品番：N243 V4 920 **（旧品番：QND1 51 960 **）
サイドアンダースカート
品番：QNDE 51 P10A**（旧品番：QND1 51 P10）
リアアンダースカート
品番：QNDE 50 360A**（旧品番：QND1 50 360）
※フロントアンダースカートはエアガイド、リアスポイラーとのセット装着が義務付けられる。

3）ウィンドウガラス
加工、変更は許されない。ただし、その外側表面には、1 枚あるいは複数枚の無色透明な車検対応フィルムの取付けが許される。

4）ボンネットおよびトランク
加工、変更は許されない。

5）タワーバー、ブレース
下記のB-Sports認定部品への変更、取付けが許される。
・マツダスピード製ストラットバー
品番：QND1 56 490A（旧品番：QND1 56 490）

6）ミラー
①ルームミラーは B-Sports 指定部品の装着が義務付けられる。
・ND5RC 用：マツダスピード製ルームミラー　品番：D09W 69 220
・ND5RE 用：クスコ製ロールバーに付属のブラケットを使用して純正ルームミラーを移設すること。
②ドアミラーは B-Sports 認定部品への変更が許される。
・マツダ製ブルーミラー
品番：N247 V3 660（旧品番：N243 V3 660）

7）ヒーター・エアコン
ヒーター（デフロスター）およびエアコンの取外しは許されない。また、正常に機能しなくてはならない。

8）補助メーター、データロガー
①電気式メーターならびにデータロガー（各種センサにより計測・収集した各種データを保存する装置）に限り追加装着することが許される。ただし、標準装着されているメーター類は、当初の機能を保持しなくてはならず、視認性を損なうことは許されない。
②追加装着する補助メーターならびにデータロガーは、使用の有無を問わず、電気的に諸装置（ECU等のすべてのコンピュータ類を含む）を調整できる機能などのその他の機能を有してはならない。
③取付けについても乗員の保護を十分に考慮した取付け位置、取付け方法であること。
④競技の前後最中を問わず、B-Sportsが用意した計測結果を記録する機能を有する補助メーターの取付け・交換を命ずる場合がある（B-Sportsが用意した補助メーターの重量は最低重量に含まない）。従わない場合は重大な違反となり、競技会審査委員会の審議結果を考慮しペナルティが科される。この決定はB-Sportsが行うものとし、その決定および取付けに伴うあらゆる不利益に対する抗議は認められない。また、取得した記録の利用権限はB-Sportsが持ち、公開についてもB-Sportsの判断により随時公開することができる。

9）座席
運転席は、道路運送車両の保安基準および JAF 国内競技車両規則第 3 編第 5 章第 9 条 4.9「座席」を満たしたバケットタイプを装着することが義務付けられる。また、助手席も同様のバケットタイプを装着することが認められる。ただし、シートの車体フレームへの直付け（スライド機構無）は認められない。

10）ステアリングホイール
①ステアリングホイール本体のみ変更が許される。エアバッグやステアリングスイッチ、スポークカバー等のその他部品の加工、変更は許されない。また、純正装置以外を使用したステアリング位置の調整は許されない。
②レース時は運転席側のエアバッグコンピュータのコネクタを外し、作動をキャンセルさせること。助手席側のエアバッグの作動については任意とする。また、作動をキャンセルしたエアバッグは、レース終了・車両保管解除後に復元すること。

11）アクセサリー等の自動車部品
JAF 国内競技車両規則第 5 編細則「アクセサリー等の自動車部品」の中で、当規定で許されている部品、または性能の向上を目的としていると判断されないアクセサリー部品に限り、装着および変更が許される。ただし、レースに不必要と判断され、競技中脱落が懸念される部品（フロアマット、車載工具、パンク修理キット、ナンバープレートカバー等）については、レース時に取外さなくてはならない。
上記の例外として、下記に記載された部品は装着が認められる。
・ペダルカバー、ヒールプレート、フットレスト、ニーレスト（確実に取り付けること）
・ラジエターコア防護ネット（車体側の形状に影響しないこと）
空力性能に影響する機能部品と解釈されるため、下記に記載された標準装備の純正部品の取外しや変更は許されない。
・エアロボード（風切りボード）

12）内装
当規定に定められた部品の装着に伴う最小限の削除を除き、当初から設定されている純正内装部品に関しては、車室の内・外（エンジンルームおよびトランクルーム内を含む）、見える範囲の内・外を問わず（防音材を含む）削除は許されない。

13）外装
当初から設定されている純正外装部品に関しては、当規定に定められた部品の装着に伴う最小限の加工・削除のみ許される。

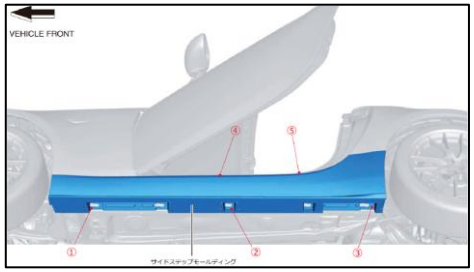
14）水／泥はねよけ
追加および加工、変更等の改造は許されない。

15）フォグランプ
取付けは認められない。

16）ソフトトップ
取外しおよび加工、変更等の改造は許されない。

17）車体補強
車体およびサイドシル・各メンバー等の空洞部を含み、一切許されない。

18）サイドステップモールディングの取付け
サイドステップモールディングの固定をより確実に行うために、以下に示された場所にタッピングビスを追加することを認める。



19）アドバンストSCBS
「アドバンストSCBS（Smart City Brake Support）」を装備した車両は、競技中に限り、「フォワードセンシングカメラ（FSC）」のレンズ部分を覆うようにフロントガラスに有色テープを貼ることで、その作動を停止させることを推奨する。

20）DSC、DSC-TRACK、TCS、KPC
「DSC（Dynamic Stability Control）」、「DSC-TRACK」、「TCS（Traction Control System）」、「KPC（KINEMATIC POSTURE CONTROL）」を装備した車両は、標準で装備されたスイッチでのみ、その作動を制御することが認められる。

3．最低重量

・ND5RC：1085kg
・ND5RE：1090kg

①大会期間中を通じ、車両（燃料、潤滑油、冷却水などの液体、競技中でも使用するカメラや記録装置等の付属品を全て搭載した状態）とドライバー（ドライバーの装備品を全て着用した状態）を含めた重量とし、これを常に下回ってはならない。

②バラストの使用は許されない。

③決勝レース終了後の車両保管中に、ドライバーの水分補給を除く、液体の継ぎ足しなどの重量を増やすいかなる行為は禁止される。

④ドライバーの重量（ドライバーの装備品を全て着用した状態）が 55kg を下回る場合、下回った分の重量（kg 単位の小数点以下は四捨五入）を最低重量の値から最大 15kg まで差し引くものとする。

※前年度のレギュレーションからの変更点は下線（直線）、変更点に関わらず特に注意すべき点は波線で示す。